

人権さんだ

11 月号

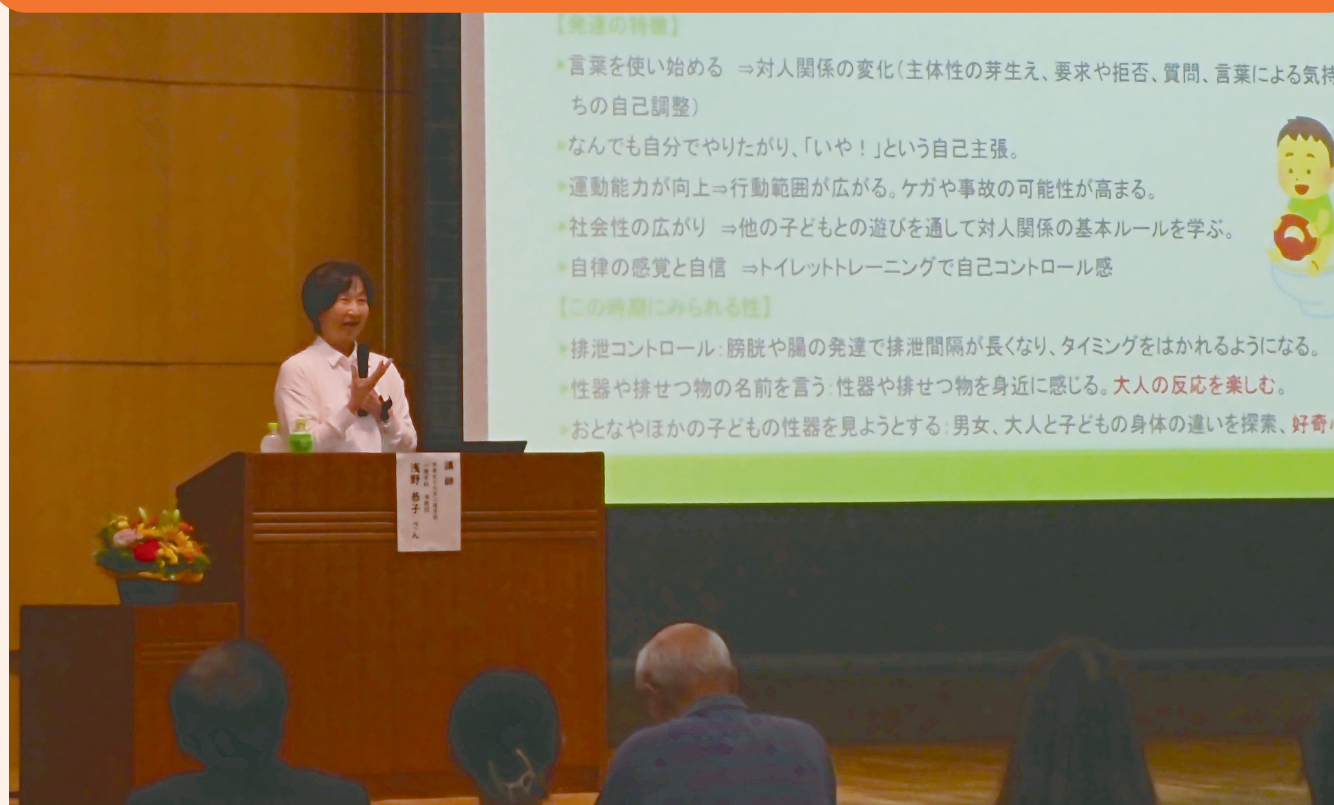
令和8年(2026)

No.572

じんけん
こどもの人権を考える

《問い合わせ》
健康福祉部 人権共生推進課
TEL: 559-5148 FAX: 563-7776
E-mail: jinken_u@city.sanda.lg.jp

ぎゃくたい すいしん
11月は児童虐待防止推進月間(オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン)



▲公開講座のようす

周りの人も自分も大切に

こどもが成長する過程のなかで、こどもの大切な人権を守る場面がたくさんあります。「周りの人も自分も大切にする」という人権感覚を育むことは、こども同士や大人との付き合い、また自分以外の人のつながりを通じた学習が大変重要となります。

今号では、三田市民生委員児童委員協議会などの主催により開催された、子育て中の保護者やその支援者を対象とした公開講座(子育てエッセンス)の様子をお届けします。講師には、甲南女子大学准教授の浅野恭子(あさのやすこ)さんをお迎えし、『性を育む親子の対話』と題して、ご講演いただきました。

性教育

「性教育」と聞くと、身体の成長や行動について学ぶことを思い浮かべるかもしれません。しかし、本講演では、「こどもは生まれて間もないころから性の発達が始まっており、その成長を支える上での土台となるのが親子のコミュニケーションである」のことなどを教えていただきました。今回ご講演いただきました内容について考えていきましょう。

生まれたときから始まる「人とのつながり」

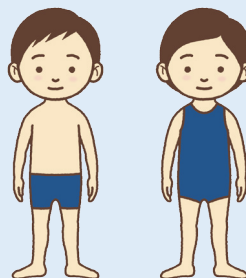
赤ちゃんは、抱っこや優しい声かけなどを通して、「安心できる人がいる」という感覚を育んでいきます。成長すると、「順番を守る」「貸してほしいと伝える」「ありがとうと言う」など、集団で遊びながらルールを身につけます。こうした経験の積み重ねが、自分自身と周りの人を大切にするにつながります。

こどもは周囲の大人の姿をよく見ています。言葉で教えるだけでなく、大人自身が人の気持ちをお大切に示すことも、こどもにとって大きな学びとなります。

「境界線」は安心して暮らすためのライン

境界線とは、「自分と他の人との間にある、安心・安全を守るための目に見えないライン」のことです。例えば、人の物を勝手に使わない、人の家に勝手に入らない、嫌なことをされたときには「イヤ」と伝える。こどもたちは、遊びや生活の中で、こうした境界線を少しずつ学ん

みずぎでかくれるところはじぶんだけのだいじなところだからだよ



いろんなひとにみせるところじゃないんだね！

くち・かお もだいじだよ！



プライベートパーツとは(文部科学省 HP 生命の安全教育参照)

でいきます。

境界線は、いつも同じとは限りません。「昨日はよかったけれど、今日はイヤ」ということもありま

「性行動のルール」を、

具体的にわかりやすく伝える

水着で隠れる部分については、性

行動のルールとしてプライベートパーツと呼ばれます。「自分のプライベートパーツを人に触らせない・見せない」「他の人のプライベートパーツを触らない・見ようとしない」など、こどもが理解できる言葉で繰り返し伝えます。

大切なのは、ルールを守れなかったときにこどもを責めることではありません。「何があったの?」「困ったことはない?」と、その行動の背景にある気持ちや困りごとに耳を傾けることです。

「話してくれてありがとう」と言える関係を

こどもは、友達やインターネット等から性に関するさまざまな情報を得るようになります。困ったことが起きて、「怒られるかもしれない」「恥ずかしい」と一人で抱えてしまうことがあります。だからこそ、周囲の大人は、こどもが勇気を出して話してくれたときには、まず最後まで話を聴き、「話してくれてありがとう」「今、一番困っていることは何?」と受け止めることが大切です。

まとめ

「性を育む」ことは、特別なことを教えるのではなく、「あなたは大切な存在だよ」「あなたの気持ちも、

相手の気持ちも大切だよ」と伝え続けることが大切です。

日々の何気ない会話を聴いてもらったり、気持ちを受け止めてもらった経験が、やがて自分で考え、選び、相手を尊重する力につながっていきます。

講師プロフィール

浅野 恭子(あさの やすこ)

公認心理師・臨床心理士

甲南女子大学心理学部心理学科准教授

自治体の心理職として30年余り、児童福祉(児童相談所、児童自立支援施設)、

女性福祉(女性相談支援センター)等で

支援にあたってきた。専門分野は、こ

もの性問題行動への支援、組織における

トラウマインフォームドケアの推進。

子育ての「困った」「気になる」はありませんか?

毎日の子育ての中で心配なことや不安なことがあれば、ひとりで抱え込まずに相談してください。

問い合わせ…三田市こども家庭支援センター家庭児童相談室
079-559-5076

(受付…月々金、9時〜16時30分)

▼三田市
家庭児童相談室



児童虐待とは

虐待かどうかは、虐待をする側の意識の問題ではありません。

こどもがどう感じ、どう傷ついているか、「こどもの立場」から判断されるものです。

児童虐待は、大きく分けて4つの種類があります。

■ 身体的虐待.. 殴る、蹴る、激しく揺さぶるなど

■ 心理的虐待.. 暴言を浴びせる、家族の前で暴力を見せるなど（ドメスティック・バイオレンス）

■ ネグレクト.. 食事を与えない、汚れた服のまま放置する、家の中に閉じ込めるなど

■ 性的虐待.. こどもへの性的な行為や、見せるなど

こどもに及ぼす虐待の影響は？

虐待は、こどもの心と体に大きな傷を残します。

場合によっては、虐待は「自分に原因があるから..」と考えてしまうこどももいます。

私たちにできること

子育ての不安やイライラを感じたときは、自分だけで抱え込まずに周りの人や窓口にSOSを出しましょう。地域全体で温かく見守り、声をかけ合うこと

がこどもの命と笑顔を守ることにつながります。

相談・通告窓口

「虐待しているかも?」と思ったら、迷わずご連絡ください。連絡は匿名で行うことができ、秘密は守られます。

■ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189（いちはやく）」

■ 全国の共通ダイヤルです。

■ 発信した場所の近くにある児童相談所につながります。

■ 一部のIP電話などではつながらない場合があります。



◀児童相談所虐待
対応ダイヤル
「189」について

こどもを虐待から守るのに、理由はいらない。

情報提供や相談を!! いちはやく
まずは連絡 189

匿名可能 通話無料 秘密厳守

※「児童相談所虐待対応ダイヤル」お住まいの地域の児童相談所につながります。



使ってみよう「やさしい日本語」

外国人にもわかりやすいように、言葉や話し方に配慮した「優しい・易しい」日本語のことです。コツを押さえれば、誰でも簡単に使うことができます。外国人だけでなく、子どもや高齢者、障害のある人など、さまざまな人とコミュニケーションが取りやすくなります。

★例題★

次の文を「やさしい日本語」で言い換えてください。

公共交通機関で行けます。
(答えは下欄外参照)

★イベントのご紹介

第29回 Friendship Day in SANDA 「やさしい日本語」コーナー

クイズを通して、「やさしい日本語」を楽しく学んでみませんか。

◆日時 令和8年11月21日(土)

15:00～15:20、15:30～15:50(どちらも同じ内容です)

※ Friendship Day in SANDA は、12:00～16:00です。

◆場所 まちづくり協働センター(キッピーモール6階)

◆やさしさにインストラクター

兵庫ボランティアネットワーク 代表 村山 勇さん



人権さんだアンケート

ご感想や今後取り上げてほしいテーマをお寄せください。



地域活動のご案内

弥生小学校区地域部会人権講演会

～みんなで育もう地域の輪と絆～

【日時】11月15日(日)13時30分～15時30分

【コンサート】マリンバ演奏

多田 駿介さん(ダウン症のマリンバ奏者)

【講演】「ジブリで考える人権」

～大切なものは目に見えないんだよ～

坂田 良久さん(人権エデュ.com代表)

【場所】フラワータウン市民センター(大ホール)入場無料

《問い合わせ先》弥生が丘コミュニティセンター

TEL 562-0434

くらしの人権相談

TEL 559-5062 FAX 559-5063

月曜～金曜 9時～17時(※祝日・年末年始を除く)

専門相談員による性的マイノリティ特設電話相談(予約制)

TEL 559-5062 FAX 559-5063

月曜～金曜 9時～17時(※祝日・年末年始を除く)

※専門相談員との相談日は予約後に調整

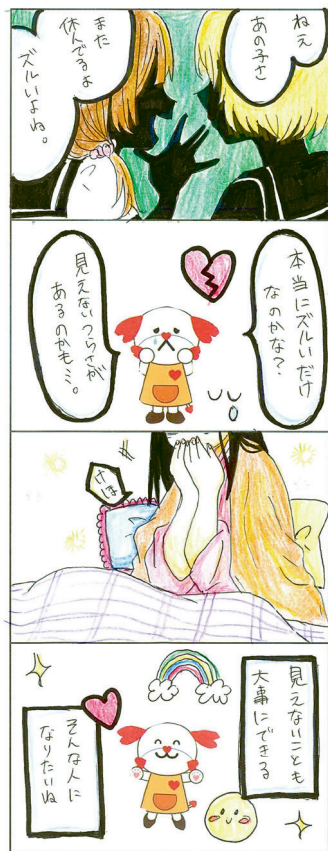
人権擁護委員による定例人権相談(予約制)

TEL 559-5148 FAX 563-7776

《次回相談日》11月26日(木)13時～16時

令和7年度
ラブピース4コマまんが受賞作品

「見えないことも」



三田モードビジネス専門学校2年(前年度)
にしむら ゆりあ 西村 優利亜 さん

令和7年度
人権標語受賞作品

探そうよ
みんな持つてる
良いところ
ゆりのき台中学校保護者(前年度)
赤塚 千鶴さん

令和8年度(2026年)人権と共生社会を考える市民のつどい

【日時】12月5日(土) 13時30分～15時50分

【会場】三田市総合文化センター(郷の音ホール) 小ホール

【プログラム】

- ◆人権標語・ポスター 優秀賞表彰
- ◆ラブピース4コマまんがが特選表彰
- ◆小・中・高校生による人権作文発表



◆講演

【テーマ】(仮題)

「外国人と暮らすまちづくり ～地域づくりを考える～」

【講師】新矢 麻紀子さん(大阪産業大学 国際学部 国際学科 教授)

【概要】外国人であることを理由とする不当な取扱いや、言語や文化、生活習慣の違いなどから地域社会で摩擦が生じています。また、特定の国・地域の出身者であることなどを理由に社会から排除し危害を加えようとするなどの差別的な言動が、街中やインターネット上で発生しています。

近年、外国人市民が急増する中で、外国人市民に対する理解や、ともに暮らす仲間として人種・民族・国籍などの多様性を受け入れ共生していくことが求められるため、この講演では、外国人と暮らすまちづくりをテーマに、人権を尊重し多様性を認め合う社会について市民にわかりやすく伝えていきます。

【締め切り】一時保育(就学前)希望者は11月27日(金)まで
申し込み締め切りは12月3日(木)まで

<https://logoform.jp/form/hyogo-sanda/1852136>

または右記二次元コードを読み取ってご覧ください。



主催 三田市・三田市教育委員会 協賛 三田市人権を考える会
(問い合わせ先): 人権共生推進課 TEL: 559-5148 FAX: 563-7776



たくさんのご応募
ありがとうございました♡

令和8年度人権ポスター

・標語・ラブピース

4コマまんが入賞作品展示会

場所: 三田市役所本庁舎1階ロビー

12月8日(火)～12月16日(水)

人権ブックフェアのご案内

場所: 三田市立図書館本館

1階ギャラリー

12月2日(水)～16日(水)

人権標語・ポスター、「ラブピース」4コマまんがコンテストにたくさんのご応募、ありがとうございました。

上位入賞者については、12月5日(土)に行われる「人権と共生社会を考える市民のつどい」にて表彰を行います。



令和8年度
市民企画
講座の
お知らせ

～誰もが幸せに生きるまちをめざして～ あなたがまちの「主人公」です！

	第1講	第2講
日時	10月31日(土) 13時30分～15時30分	12月5日(土) 13時30分～15時30分
場所	さんだ市民センター 2階 会議室	さんだ市民センター 3F 多目的室
演題	防災を学ぼう！ ～防災対策と人権の視点から～	EARTH(震災・学校支援チーム)の活動を通して ～熊本地震の現場からの報告～
講師	市場 通行さん (さんだ防災リーダーの会会長・ひょうご防災特別推進員)	竹山 賢一さん (災害・学校支援チーム EARTH)

主催 三田小学校区人権啓発講座実行委員会 協賛 三人考三田小学校地域部会

〈問い合わせ先〉三田市人権を考える会(事務局: 人権共生推進課) 電話: 559-5148 FAX: 563-7776

〈講座企画担当〉090-1965-1291(大東) 保育は無料です。締め切りは各講座2週間前です。

